

学びの支援ボランティア「どさんこ」は、自らの知識・技術・特技を生かし、ボランティア講師として学習の機会を提供する取り組みです。令和6年度は57件の利用があり、延べ794人が参加しました。

「どさんこ」は、さまざまなジャンルが登録されており、24件のメニューがあります。原則3人以上で利用することができますので、気軽に相談してください。また、講師の募集も随時行っていますので、希望者は社会教育課社会教育係までご連絡ください。

▼利用状況（3月末現在）

メニュー	講師	件数	人数
魚料理	加藤 美紀	1件	23人
自然生物	六田 晴洋	1件	11人
茶 道	新井田 芳子	1件	23人
ギター	紺野 勝行	6件	6人
漁師の出前授業	加藤 崇	1件	22人
手 話	盛内 峰子	2件	4人
ふまねっと	鈴木 麗子、 西村 富美子ほか	45件	705人

▼活動の様子

ギター講座

ギターの演奏方法や課題曲を用いたコードの練習方法を学びました。



ふまねっと

「ふまねっと」を通じて、参加者同士が交流し、健康体操なども取り入れながら、楽しく体を動かしました。



問合先 社会教育課社会教育係 ☎ 2-2287

結婚・子育て

結婚祝い金・結婚新生活支援事業補助金



町では次代を担う世代に対し、結婚を祝福するため、結婚に伴う経済的な支援を行っています。

○結婚祝い金

対象者

- ①婚姻届の提出から1年未満で、39歳以下の新婚世帯
- ②町内在住で1年以上居住する意思がある夫婦

金 額／町内で購入したものに限り、30万円を上限に補助します。

○結婚新生活支援事業補助金

対象者

令和7年1月1日から令和8年3月31日までの間に婚姻届が受理された、39歳以下の新婚世帯

金 額／1世帯あたり住宅費用および引っ越し費用60万円を上限に補助します。

申請・問合先／令和8年3月31日までに、健康こども課子育て支援係（内線526）へ申請してください。
手続きおよび要件などの詳細は、問い合わせください。

北海道 お米・牛乳 子育て応援事業（第三弾）



北海道では、子育て世帯の支援と道産品の振興を図るため、お米や牛乳を購入できる商品券などを支給する「北海道お米・牛乳子育て応援事業(第三弾)」を実施しています。



対 象

平成18年4月2日～令和7年6月1日までに生まれた子どもがいる世帯

申請期間

6月30日(月)まで

申請方法

第二弾の申請から住所や家族構成に変更がない場合は、本人確認書類不要の簡易申請が可能です。詳細は、郵送されているはがきを確認ください。第二弾の登録住所から転居されている世帯には、はがきが届きませんので、次のURLから申し込みください。<https://hkd2025kosodate-ouen.jp/>

問合先

申請手続き者用コールセンター ☎ 011-350-8680（9時～17時）